

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第60号

-2019年3月-

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 市丸 克己
連絡先 045-210-1111(代)
神奈川県青少年課内
印刷 文明堂印刷(株)横浜営業所
045-731-1441

私たち青少年指導員に求められること

第51回神奈川県青少年指導員大会を開催

平成30年11月18日(日)、厚木市文化会館大ホールにおいて、県内各地から500人を超える参加者を迎えて、第51回神奈川県青少年指導員大会が盛大に開催されました。

県央地域青少年指導員連絡協議会で、実行委員会を立ち上げ、5市1町1村が協力し、県央地域らしさを随所にみせた大会は、大盛況のまま幕を閉じることができました。関係者の皆様に心から感謝いたします。

僕も参加
したよ!



かながわキンタロウ

◆迫力満点！オープニング◆



清川村青龍太鼓の演奏でスタート！小さな子どもから大人までが一体となって、まさに心に響く！って表現がぴったりで、本当にすごかったな～

◆神奈川県青少年指導員表彰◆



今年度は66名の指導員が表彰されたね。受賞者の皆さま、長年の活動本当にお疲れ様です。感謝、感謝です。

◆綾瀬市と座間市による活動事例発表◆



綾瀬市の発表だね。活動が楽しそう！とんすきメンチ、おいしそうだったな…



こちらは座間市の発表。スライドが上手！会長を中心として、本当に仲がいいんだね！

◆子どもとの関わり方に関する講演会◆



指導者育成のベテラン、青少年センターの川手隆生氏に講演いただいたよ。ぷちなでしこの話、面白かったな～

◆県央地域のキャラクターが大集合◆



県央地域のマスコットキャラクターが集合！みんな元気そうよかった～



楽しい大会だったな～
これからも青指一丸となって頑張ろう！

指導員大会を振り返る

実行委員長 **中野 隆則**

はじめに、県内各地より厚木市文化会館にお越しいただいた青少年指導員の皆様に、お礼申し上げます。また、今回受賞された皆様に、心よりお祝い申し上げます。

さて、思い起こすこと約一年前、県央地域の会長を中心に、県事務局の助けもいただきながら、素人メンバーで実行委員会を立ち上げました。そして、「私たち青少年指導員に求められること」をテーマに掲げ、子どもたちと私たちを取り巻く社会の中で、お互いどのように向き合うかについて、話し合いを重ねました。また、県央の地域性・手作り感を出すことにも力を入れました。何より、3名の女性会長（自称“キャンディーズ”）が、イケイケ・ドンドンでやってくれたおかげで、楽しく準備することができたと思います。

そして迎えた大会当日。オープニングでは、清川村に江戸時代の天保から伝わる雨乞いの祭りの青龍太鼓を、子どもたちが力強く演じ、会場からはたくさんの拍手が湧きました。休憩時間は、かながわキンタロウと県央地域のゆるキャラの登場で、大いに盛り上がりしました。

座間市と綾瀬市の事例発表は、生き活きと活動し、大変だけど楽しんでいる様子が伝わりました。講演では、お馴染みの県立青少年センター主任専門員の川手先生に、「信頼して任せることで、子どもは元気に育つ」をテーマに、未来を託す子どもたちと私たちがどのように接し向き合っていけばよいかについて、話していただきました。

最後に、実行委員の皆様と楽しく運営することができたこと、心から感謝いたします。

県青少年指導員表彰受賞者一覧（平成30年度）

青少年の健全育成にご尽力いただき、ありがとうございます

■横浜地域

松下 忠昭	神奈川区
小高 久子	神奈川区
瀬戸 道子	中区
池田 恵美子	南区
長田 主美男	南区
福嶋 義弘	港南区
横井 則明	港南区
今井 喜計	港南区
中村 久枝	港南区
山本 孔士	港南区
小野 光子	保土ヶ谷区
安積 信行	旭区
藤澤 律子	旭区
小林 正信	旭区
下田 正二	磯子区
佐藤 久枝	磯子区
堂坂 昌代	港北区
横溝 光明	港北区

阿部 誠吾	港北区
船元 俊之	港北区
松本 洋一	青葉区
熊谷 則一	青葉区
門田 文隆	青葉区
内田 唯夫	都筑区
甲田 三男	都筑区
羽太 聡	戸塚区
三浦 修美	栄区
飯島 四朗	泉区
小山 孝夫	泉区
吉川 正敏	瀬谷区
秋山 季己	瀬谷区

■川崎地域

井上 幸男	川崎区
眞下 清秀	幸区
小野寺 昌英	中原区
北林 輝夫	高津区

杉田 裕康	宮前区
井上 美和子	多摩区
笠原 勝浩	麻生区

■相模原地域

佐藤 俊二	中央区
伊藤 時彦	南区

■横須賀三浦地域

小島 栄子	横須賀市
西脇 幸二	横須賀市
石川 敦子	鎌倉市
曾志 実	逗子市
出口 眞琴	三浦市

■県央地域

菅野 昭男	厚木市
中島 伸一	厚木市
高橋 正	大和市

新野 美喜子	大和市
大澤 道夫	座間市
大野 政男	愛川町

■湘南地域

五味 良次	平塚市
神山 節子	藤沢市
金本 美智	藤沢市
久保 光弘	秦野市
飯森 浩一	伊勢原市
飯嶋 晃	伊勢原市
小菅 利枝	寒川町
織戸 明	大磯町

■県西地域

猪股 将治	小田原市
小石沢 勝俊	南足柄市
佐藤 勝彦	開成町
小澤 健一	湯河原町

（敬称略／掲載にご了承いただいた方のお名前）

【受賞者のコメント】

青指の活動に携わり、たくさんの仲間、多くの子どもたちと交流でき、嬉しい反面大変なこともありましたが、皆様に支えられて表彰されたこと、感謝一杯です。

地域の子どもたちといろいろな場面で活動することができたことはとても幸せです。これからもできる限り続けていきたいと思っています。

青指になって初めて会った子どもたちが、三十歳前後になります。青指の後継者になっていただけたらと思います。



青少年指導員のPR活動について

県の青少年指導員の活動について、一人でも多くの方に関心や理解を深めていただこうと、11月18日に本厚木駅前にて、各地域から集まった15名の青少年指導員が、元気な声で通行人に呼びかけ、チラシを配布しました。

青少年指導員の活躍にクローズアップ 第1回

中学生を見守る推進員

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会 広報研究部会

★大矢部中学校区：高橋 牧生さん★

○…地域ではPTA役員、学校評議員、防災（震災時避難所運営委員会）などを担当されて幅広く活躍されています。なお青少年問題にも関わり、こと青少年育成に関しては熱いものを感じるものがあります。そのような人柄が青少年育成推進員にと連合町内会長から推薦されたのでしょう。



第13回中学校対抗ウォークラリー大会から

○…協議会活動においては、4研究部会の中の育成研究部会（中高生の体験活動や交流事業を企画）に所属し、中心的役割を担っております。部会員の中でも人望が厚く誰からも信頼されています。

○…昨年12月の13回ウォークラリー大会ではコースの設定から関わり、下見段階ではひそむ危険要因やコースアウトしそうな箇所などの安全性の確保に努められていました。しかし準備段階で万全を期して、臨んだのだがそうは問屋が卸さなかった。

○…大会本番では想定外の問題が起き、スタッフは孤軍奮闘でその対応に四苦八苦、そこに高橋さんが登場で難を乗り越え、中学生に及ぼす影響を未然に防ぐことができました。

○…「いろいろな問題が出たが、今後に向けて改善をしていかねば・・・」（高橋さん談）

第1回 事務局が行く ～ライブ・イン・山北～

子どもたちの集える場所を！寒さも吹き飛ば、高校生の熱い冬

12月16日(日)に山北町立生涯学習センターで山北町、近隣市町の高校4校（県立山北高等学校、県立大井高等学校、県立足柄高等学校、立花学園高等学校）、全13バンドが参加する、「ライブ・イン・山北」が行われました。

高校生の輝くステージ

高校生にとって、普段の発表は定期演奏会など校内規模のものが多く、ライブ・イン・山北は学校外で演奏ができる、かなりのビッグイベントです。この日を楽しみにしていた様子で、練習を積んできており、本番直前は「緊張しておなかが痛い」と緊張している生徒の姿もありました。

しかし、ライブが始まると、堂々としたパフォーマンスで会場を魅了し、緊張してドキドキしていた姿が、ま

るで別人のように、皆それぞれが輝いていました。

出演後には、「緊張したけど楽しかった」、「失敗した、次に活かしたい」など、とても良い経験、思い出になった様子でした。

支えるみんなの想い、集える場所をつくるために

この舞台裏には、22年間続けている山北町青少年指導員、山北町の運営があります。指導員会長は、「子どもたちの集う場所がなく、未来をつくる子たちに場所を提供したいという想いから始まり、会長や指導員が代わってもその想いは受け継がれ、22年続いている」と語ってくれました。

また、地域の結びつきも忘れてはいけません。県立山北高等学校PTAの役員の方々は、高校生のおなかを満たし、パワーを授ける美味しいカレーを提供しています。「カレーを食べながら高校生と話すのが楽しい」と、PTAの皆さんも存分に楽しんでいる様子でした。

高校生の集える場所をつくり、そして高校生自身が輝けるイベントを取材することができ、とても心が熱くなりました。



迫力のあるパフォーマンス！



カレーを食べてパワー充電

指導員紹介・取材希望の場合は県青少年課（TEL 045-210-3848）までお問合せください

子どもの心へ届けたい本～優良図書のご案内～

心の成長期にある青少年にとって、優良な図書に触れることは、とても大切なことです。県児童福祉審議会では、児童の健全育成に資すると期待できる図書等の出版物を優良図書として推薦しています。青少年に勧める際の参考としてください。

平成30年度優良図書として選ばれた作品は、以下のとおりです。

■幼児以上対象	ぼくはアイスクリーム博士	■小学校高学年以上対象
あのこと	まいにちがプレゼント	安寿姫草紙
おうち	みずとはなんじゃ？	シロクマが家にやってきた！
きょう、おともだちができたの	もうひとつのにじのしま	スケッチブック ―供養絵をめぐる物語―
さよならともだち	■小学校中学年以上対象	たかが犬、なんて言わないで
すずちゃんのうみそ	アチチの小鬼	フェルメール この一瞬の光を永遠に
自閉症スペクトラム(ASD)のすずちゃんの、ママからのおてがみ	オポッサムはないてません	魔女が相棒？ねぐせのヤマネ姫
そうべえときじむな―	消えた時間割	モスクへおいでよ
タイショウ星人のふしぎな絵	車いすの図鑑	■中学生以上対象
どうぶつどんでん	答えのない道徳の問題 どう解く？	ザ・ヘイト・ユウ・ギヴ あなたがくれた憎しみ
どんぐりむらのいちねんかん	しりとりにボクシング	ぜいたくなあさ
ふしぎなしっぽのねこ カティンカ	大好き！おじさん文庫	地図を広げて
村じゅうみんなで	ハートウッドホテル1	一ツ蝶物語
■小学校低学年以上対象	ねずみのモナと秘密のドア	K100 神奈川高校野球 真夏の球譜
アニマルズ 生きもののおどろき120	ふしぎなカビ オリゼー 千年の物語	上巻・下巻
きみ、なにがすき？	～和食をささえる微生物～	マンザナの風にのせて
コクルおばあさんとねこ	ふしぎの花園 シスターランド	
ナージャの5つのがっこう	ぼくのドラゴン	
歯っかけアーメンさま	わんこのハッピーごはん研究会！	

優良図書の一覧は、県内の幼稚園や小中学校、図書館等に配布するほか、県のホームページでご覧いただけます。
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/t7e/cnt/f4151/p12556.html>

今さら聞けない 知ってた？ ジュニア・リーダー編

ジュニア・リーダーとは

ジュニア・リーダー（以下、JL）とは、子ども会の活動をサポートする中高生（市区町村によっては高校生以上も）のボランティアです。市区町村によってはジュニア・リーダーズクラブを組織し、子ども会の要請に応じてJLを派遣して活動のサポートをしているところもあります。



JLの活動報告の様子

JLと青指

そんな若くて貴重な地域ボランティアとしてのJLと青少年指導員（以下、青指）がコラボしない手はないでしょう。青指がJLの育成にあたっている市区町村は結構あります。そんなつながりがあるので、JLのやりたいことを聞き青指は裏方に回って、彼らが活躍できる場を作ってあげるとよいでしょう。

例えば…綾瀬市「ミニあやせ」

子どもたちが企画して子どものまちをつくり、食品販売員、銀行員や警官などの体験ができます。子ども会、青指、地域の大人、JLがうまくかみ合って子どもたちをサポートし、子どもが活躍できる場づくりをしています。

問合せ：045-263-4466（月曜お休み） 県立青少年センター指導者育成課

お知らせ ★★★

働きたい。若者の一歩を応援しています。

地域若者サポートステーションのご案内

地域若者サポートステーション(愛称：サポステ)では、働くことに悩みを抱えている若者を対象に、就労に向けた支援を行っています。

臨床心理士やキャリア・コンサルタントなどによる専門的な相談や、各種講座や職業体験などを通じて、就職を目指します。

サポステは、厚生労働省が委託した全国の若者支援の実績やノウハウのあるNPO法人、株式会社などが実施しています。お近くのサポートステーションまでお気軽にご相談ください。

県内の地域若者サポートステーション ※面接相談には予約が必要です。

よこはま若者サポートステーション 【電話】045-290-7234 【交通】JR「横浜駅」から徒歩約7分	さがみはら若者サポートステーション 【電話】042-703-3861 【交通】JR・京王線「橋本駅」北口から徒歩約1分
新横浜サテライト(よこはま若者サポートステーション) 【電話】045-290-7234 (よこはま若者サポートステーションと共通) 【交通】JR「新横浜駅」、横浜市営地下鉄「新横浜駅」7番出口から徒歩約2分	神奈川県央地域若者サポートステーション 【電話】046-297-3067 【交通】小田急線「本厚木駅」東口から徒歩約5分
湘南・横浜若者サポートステーション 【電話】0467-42-0203 【交通】JR「大船駅」東口から徒歩約5分	神奈川県西部地域若者サポートステーション 【電話】0465-32-4115 【交通】JR・小田急線「小田原駅」西口から徒歩約3分
かわさき若者サポートステーション(コネクションズかわさき) 【電話】044-850-2517 【交通】JR「武蔵溝ノ口駅」、東急線「溝の口駅」から徒歩約5分	

かんたん工作① ぶんぶんごまの作り方

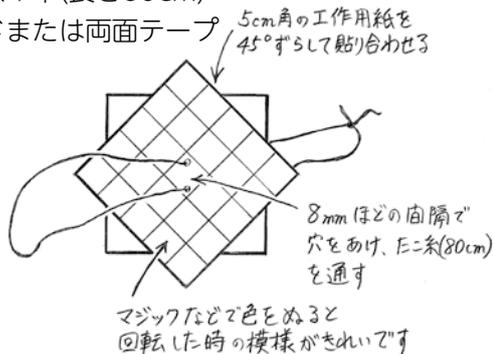


ぶんぶんごまは、いろいろな材料で作ることができます。ここでは簡単に作れる、工作用紙での作り方を紹介します。これを参考に、工作教室を行ってみませんか。

材料 5cm角の工作用紙2枚

たこ糸1本(長さ80cm)

ボンドまたは両面テープ



作り方 工作用紙を45度ずらし、ボンドや両面テープで貼り合わせ、中心に8mm間隔の穴をキリなどであける。穴にたこ糸を通して結べば完成。

工夫 工作用紙の代わりに牛乳パックでも出来ます。形は自由ですが、対称に作ると回しやすくなります。糸を通す穴のピッチが1cm以上になると回りにくくなりますので注意してください。

また、対象者や時間などにより、色付けだけでいいようにするなど、どこまで準備するか検討しましょう。

遊び方 たこ糸の両端を両手の指1~2本にかけ、こまを回転させ糸を8~10回ほどねじります。左右対称に両手で引っ張り、タイミングよく糸を緩めると反回転し、これを繰り返すと“ぶんぶん”と音をたて勢いよく回ります。

横浜市戸塚区青少年指導員 藁科 文男

簡単に作れる工作をご紹介します 問合せ：045-210-3848 (県青少年課)



泉区青少年フェスティバル

～自分・発信 今こそ伝えよう～

泉区青少年指導員協議会 青木 日出男

泉区青少年指導員協議会では、毎年3月に泉区青少年フェスティバル～自分・発信 今こそ伝えよう～を泉公会堂で開催しています。

「自分・発信～今こそ伝えよう～」をテーマに、青少年の皆さんが日頃打ち込んでいる音楽活動やダンス活動の発表の場として、泉区青少年指導員協議会が主催となって設定しています。

発表のステージには、吹奏楽をはじめ、ダンスやチャリディング、空手の演武やバンド演奏など様々な団体が出演し、日頃の活動を発表してフェスティバルを盛り上げています。

泉区青少年フェスティバルは、泉区青少年指導員として活動が始まって以来、毎年、泉区役所の隣にある和泉遊水地で開催していましたが、イベント当日に雨が降り、イベントが中止になってしまったことがありました。

この日のために練習を一生懸命に重ねてきた子どもたちに日頃の活動の発表の場を提供できず、悔しい思いをしたことから、泉公会堂での開催に変更しました。

イベント当日、子どもたちの素晴らしいステージを見

ていると、この日のために準備をし、無事に開催できたことにとっても達成感を感じます。

今後もイベントを成功させるために、泉区青少年指導員協議会一同、邁進してまいります。



素晴らしい太鼓の演奏！（第31回青少年フェスティバルの様子）

地域活



綾瀬の夏はウォークラリー

綾瀬市青少年育成員協議会 秋山 直美

綾瀬市では平成25年4月1日より、青少年指導員と青少年補導員が統合され、綾瀬市青少年育成員協議会が新たに設置され、25名の青少年育成員で活動しています。

今年は第51回神奈川県青少年指導員大会において事発表をする機会をいただき、市制施行40周年を迎え



仲良くチームでスタート！！

た綾瀬市の魅力を紹介するとともに、私たちの活動内容を発表させていただきました。その活動のひとつに「綾瀬市ふれあい探検ウォークラリー大会」があります。今年度で26回目の開催となりましたが、家族や仲間と協力し合い、コマ地図を頼りにクイズの問題を解きながら、設定された時間（隠しタイム）を目安に綾瀬市内のコースを巡るものです。

近年、参加チーム数の減少が課題となっていました。今年度はサブタイトルを「～知力・体力・時の運に挑戦～」として、コース中にアトラクションを加えて開催したところ、参加チーム数も増え、ゴール後のアンケートには多くの方から「チームで協力してアトラクションに挑戦できました」との回答をいただくことができました。

今後もみんなで知恵を出し合い、参加されたみなさんが親子のふれあいや仲間とのコミュニケーションを楽しみながら体験できるように青少年育成員一同で協力して、この事業を継続していきたいと思っております。



ふれあいの集い

真鶴町青少年指導員協議会 会長 向笠 伸一

真鶴町の青少年指導員は現在10名で活動しており、毎月の定例会や各種事業も青少年指導員自らが楽しんで活動することを心掛けています。

当町は神奈川県内で2番目に小さい町で、小学校・中学校ともに1校です。小さい町だからこそ、子どもたち一人一人の顔を見ながら活動出来ることで必然と距離が近づいています。夏休み・冬休み期間中のパトロールや、日本3大船祭りである貴船祭りでの夜間パトロールの場面でも子どもたちから声をかけてくれるほど、普段から距離の近い中で活動しています。

1年間で一番力を入れている事業が12月に開催している「ふれあいの集い」です。ふれあいの集いとは、中学生と青少年指導員が主となり、焼きそばやフランクフルトなど6つの模擬店を企画・運営することを通じて地域とのふれあいの場とすることを目的に開催しています。中学生が動物の着ぐるみを着て、児童・幼児対象のじゃんけん大会を行い、会場を盛り上げてくれています。年々少子化の影響を受けて生徒数が減少してきている中で、中学生の勢いは年々増してきていることに頼もしさ

を感じています。チャリティー募金を目的にしている模擬店も出店していて、集まった募金額の半額を町の緑の再生事業等に使うみどり基金へ、もう半額を社会福祉協議会を通じて日本赤十字社等へ募金しています。今後も子どもたち一人一人との距離を大切に、笑顔を忘れずに活動していきます。



じゃんけん大会の様子

動 報 告



ピザ焼きに挑戦!

大磯町青少年指導員連絡協議会 会長 加藤 久昭

湘南の町、大磯は人口約3万2千人の海と山に囲まれた自然豊かな地域です。ここで私たち青少年指導員は10名という県内でもきっての少数精鋭で活動しています。

この恵まれた環境の中で、子どもたちに多くのことを体験してもらいたいと思い、毎年色々な事業に取り組んでいます。中でも最近、自主事業として恒例になりつつあるのが、ピザ窯作りです。主に小学生を対象として

行っているもので、段ボールでの窯作りから始めて手作りピザを焼く、という工作与野外活動が合わさった、子どもたちに人気のイベントです。

班ごとに分かれた子どもたちは、かまどでのマッチを使った火おこしから始め、組み上げた薪と新聞紙を使い炭に火をつけていきます。解体された段ボールには通気口を開け、耐熱処理を施し、段ボールを窯の形に閉じていきます。最後は、ピザ生地に各々好みのトッピングを乗せ、手作りの窯に入れて焼くこと20分でピザの完成です。

最初の頃は、「素材が段ボールでは燃えてしまったりしないだろうか？」という不安もありましたが、窯の内側にしっかりと張られたアルミホイルの耐熱性により、窯としての機能を全く問題なく発揮しています。

ピザを焼いている時間は、大縄跳びやハンカチ落とし、けん玉などで遊びながら、学年や学校も異なる子ども同士が交流を深めています。昨年も、参加した子どもたち全員が「来年もまた参加したい！」と笑顔の1日になりました。



かまどの火おこし



ピザの完成!



2019年4月～2019年9月
各市町村イベントスケジュール

◆横浜市

○紙トンボ、ぶんぶんゴマ体験コーナー
(三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル内)(鶴見区)
5月18日(土)午前9時30分～午後4時
(雨天時は19日(日)に順延)
県立三ツ池公園
来場者へ紙トンボやぶんぶんゴマづくりを体験してもらい、フェスティバルの盛り上げや、地域交流を図ります。

○ホテル観察のタベ(神奈川区)

6月7日(金)午後7時15分～午後8時30分
(雨天時は6月14日(金)に順延)
神奈川県立四季の森公園(JR横浜線中山駅徒歩15分)
親子で夜空に舞うホテルを鑑賞しませんか?(対象:神奈川区内在住又は在学の小・中学生と保護者)

○第23回保土ヶ谷区手作り紙ヒコーキ大会(保土ヶ谷区)

6月30日(日)午後1時～午後4時
保土ヶ谷スポーツセンター
自作の紙ヒコーキを持ち寄り、滞空時間を競います。

○はぁとdeボランティア～中学生のための夏休みボランティア体験～(都筑区)

募集期間:6月上旬～7月上旬
実施期間:7月下旬～8月下旬
都筑区内各所(地域の夏祭り、公園愛護会活動、保育所、高齢者施設等を予定)

オリエンテーション、ボランティア体験、振り返りの3つのステップで実施します。

○第26回チャレンジフェスティバル(戸塚区)

5月19日(日)午前9時～午後1時(受付は午前10時30分まで)(※雨天時は体育館のみ実施)
戸塚小学校校庭・体育館
自己ベストを目指して、幅跳びやスリッパ飛ばしなど20種目に挑戦する小学生向けイベントです。
(参加無料)

◆相模原市

○相模原市民若葉まつり チビッ子広場

5月11日(土)午後1時～午後5時
5月12日(日)午前10時～午後5時
市役所第1駐車場及び周辺
青少年指導員は、創作コーナー、魚釣りゲーム、バンブーダンス体験などを行います。
※例年4月に「桜まつり」が開催されますが、4年に一度「若葉まつり」として5月に開催します。

◆横須賀市

○6月～7月:地域クリーン活動

追浜中学校PTA・中学生と一緒に通学路の花壇の耕しとコスモスの種まきと地域清掃を行います。
県立追浜高校定時制生徒と一緒に学校から追浜駅までの約2kmの間のゴミ拾いと駅前のデッキに花壇を置き、花で飾る追浜の街づくりを行います。

◆厚木市

○第22回少年少女フェスティバル
5月19日(日)
午前11時から午後4時まで
※材料が無くなり次第終了
アミューあつぎ8階屋内広場Sola他
各地区の青少年指導員がブースを出展し、子どもたちが遊び道具作りを体験します。

◆大和市

○第42回大和市民まつり
5月11日(土)、12日(日)
引地台公園
「こどもゲームコーナー」出店のために青少年指導員が中高生ボランティアを募集。企画からゲームの製作、当日の子どもたちの対応まで、彼らをバックアップしながら、来てくれた子どもたちを楽しませます。

○第33回親子ナイトウォークラリー

7月13日(土)開催
4km、6km、8kmの3コースをポイントごとの問題を解きながらコマ地図を頼りに親子で歩いて、ゴールを目指します。親子の絆が深まります!

◆綾瀬市

○第27回綾瀬市ふれあい探検ウォークラリー大会

7月13日(土)午後5時スタート(予定)
場所:綾瀬市役所南側広場発着4コース
内容:市内在住・在勤・在学の方を対象とし、クイズやアトラクションに挑戦しながら市内を歩いていただきます。

2019年度青少年の健全育成を進める県民大会の御案内

日時:2019年7月6日(土)午後1時～
場所:茅ヶ崎市民文化会館(茅ヶ崎市茅ヶ崎1-11-1)
テーマ:「地域の見守りと子ども・青少年の居場所づくり」

現在、県青少年指導員連絡協議会も参画しているかながわ青少年社会環境健全化推進会議で、大会の企画等を検討しています。この大会は、例年、地元の高校生等が司会進行を務めるとともに、オープニングアトラクションやパネルディスカッションにも参加しており、青少年の声を聴く良い機会になると思いますので、皆さんも奮って御参加ください。

【交通アクセス】JR東海道線・相模線「茅ヶ崎駅」北口より 徒歩8分

※駐車場は確保していませんので、公共交通機関での御来場に御協力ください。

「つばさ」第26期 編集委員

藁科 文男(横浜地域)
岸 真介(川崎地域)
齊藤 一城(相模原地域)
織田 俊美(横須賀三浦地域・担当理事)
萩原 正恵(県央地域)

編集後記

つばさ編集委員 萩原 正恵

第26期青少年指導員の編集委員として「つばさ」に関わらせていただいています。編集作業は苦手な分野と思いつつも、編集仲間にも恵まれ、楽しく取り組む事ができました。ここに、つばさ第60号をお届けいたします。

県指導員大会は、ゆるキャラたちのお出迎えもあり、活気溢れる大会となり、青少年指導員がより一層の連帯感を持ってた事と思います。

今号は、写真を多用した読みやすい紙面とすることを目標とし、編集委員5人は試行錯誤しながらの発行となりました。ご愛読いただきました皆様へ感謝申し上げます。